

S級 推奨選手



松崎貴久
【富山・82期】

1月松山記念では敗者戦を3連勝。補充参戦した続く豊橋記念でも3日目から2連対と最近は大テ脚好調だ。昨年前期のS級戦では自力も多用していただけに、目標不在でも悔れない。



村田雅一
【兵庫・90期】

昨年中盤は落車続きで振るわなかったが、11月には福井、松阪で連続優出してから調子を戻している。他地区に比べて近畿勢は層が厚い。直線の長い立川なら差し脚を伸ばす場面も十分にありそうだ。



橋本智昭
【宮城・99期】

12月西武園ミッドから9連勝でS級に復帰した。初戦の久留米では敗者戦の1勝に終わったものの、ここまでにはS級の感覚を取り戻しているはず。上位に同型が手薄な点でもチャンスだ。

A級 推奨選手



下岡将也
【三重・111期】

今期から1、2班戦に復帰。勝ち上がりでは苦戦していたが、2月静岡では予選で勝利を挙げている。ダッシュ力が持ち味で、得意パターンに持ち込めば格上相手でも一発ある。

出場予定選手データ

級別	氏名	登録地	期別	直近4ヶ月競走得点	直近10場所の成績	逃げ数
S1	内藤宣彦	秋田	67期	106.04	3 7 5 17 0	0
	稲村成浩	群馬	69期	102.77	5 2 6 13 0	0
	伏見俊昭	福島	75期	106.46	3 7 3 16 0	0
	川村晃司	京都	85期	104.38	3 6 7 14 6	0
	稲垣裕之	京都	88期	115.00	6 3 10 17 2	0
	葛田佳史	福井	88期	107.39	2 7 2 19 0	0
	菊地圭尚	北海道	89期	104.22	8 3 7 12 2	0
	池田勇人	埼玉	90期	105.89	0 6 6 14 2	0
	田中晴基	千葉	90期	103.35	6 6 5 12 8	0
	小野大介	福島	91期	103.63	3 4 7 17 0	0
	古川尚郎	栃木	92期	102.39	7 7 0 16 0	0
	櫻井正孝	宮城	100期	105.74	6 8 3 15 3	0
	横山尚則	茨城	100期	0.00	0 0 0 0 0	0
	近藤龍徳	愛知	101期	104.58	1 6 1 28 0	0
	水谷良和	愛知	70期	99.35	2 2 5 20 0	0
S2	佐藤成人	奈良	71期	98.32	0 5 6 20 0	0
	榎方次郎	青森	73期	95.79	1 2 4 25 0	0
	法月成祐	神奈川	77期	91.11	4 6 5 10 0	0
	八日市屋達	石川	79期	96.81	1 3 6 23 0	0
	松崎貴久	富山	82期	99.00	13 4 4 10 0	0
	白岩大助	埼玉	84期	95.45	1 4 3 22 0	0
	佐藤互	愛知	85期	98.37	2 3 4 23 1	0
	矢口啓一郎	群馬	87期	97.44	6 2 4 17 4	0
	木村直隆	兵庫	88期	92.09	11 6 2 10 1	0
S2	五十嵐力	神奈川	87期	99.75	8 2 4 17 0	0
	山田和巧	神奈川	87期	90.94	1 2 5 20 0	0
	坂口卓士	福島	88期	89.33	1 7 3 18 0	0
	永井清史	岐阜	88期	95.81	1 3 3 25 8	0
	明田春喜	北海道	89期	97.39	6 8 5 12 0	0
	早坂秀悟	茨城	90期	100.16	7 5 3 16 22	0
	伊藤成紀	大阪	90期	102.07	7 3 3 14 9	0
	村田雅一	兵庫	90期	104.41	6 6 4 16 0	0
	山下渡	茨城	91期	103.47	6 3 3 20 0	0
	伊藤太一	山梨	91期	95.63	0 4 2 21 0	0
	伊藤亮	埼玉	92期	93.16	3 1 5 22 0	0
	藤田英彦	千葉	93期	103.75	6 6 6 13 21	0
	須永俊太	福島	94期	102.54	2 2 8 19 1	0
	堀内昇	茨城	95期	96.14	4 2 2 21 6	0
	相川永佑	埼玉	95期	98.27	5 1 0 23 1	0

FI サンケイスポーツ杯 3/22月23火24水



稲垣裕之



川村晃司



伏見俊昭



池田勇人

稲垣裕之が抜けた存在

S級戦

稲垣裕之が近況、競走得点で頭ひとつ抜けた存在だ。最近では近畿の後輩に前を任せるレースが増えているが、目標不在なら自分で戦える脚は維持できているし、11月四日市記念で優出、続く競輪祭では準決勝に勝ち上がるなどGレースでも勝ち負けできる脚はある。不安材料といえば競輪祭から欠場が続いている点だが、2月全日本選抜で復帰すればレース勘の不安もないだろう。川村晃司も自力兼備にタテ脚は健在。1月奈良では不覚を取ったが、続く松山記念では3度の確定板入りするなどしっかりと立て直していた。驚田佳史が京都コンビに続いて強力な近畿ラインを形成する。

自力、追い込みとバランスが取れているのは北日本勢だ。伏見俊昭は9月京王閣の落車から乗り切れない成績が続いていたが、2月京王閣では、はたして今回はどうか。万全なら優勝争いをリードするだけの力を持つている。佐藤壮、三上佳孝の千葉コンビも、やはり吉元のデキ次第。佐藤は降級後4戦で準Vが2回、決勝3着が1回と安定しているだけに、吉元の仕掛けに乗って優勝争いに加わって来るだろう。

木村弘が自力で圧倒

A級1・2班戦



木村弘

木村弘が自慢の機動力で他を圧倒する。7車立てがマツチし前期S級で3度優出した実力はここでも抜けた存在。1月大宮では完全優勝も決めている。その大宮初日に木村の仕掛けに離れてしまった山本恵介は今度こそ。猪狩祐樹も争奪級の力がある。地元菅谷隆司や長井妙樹、宮下歩をはじめ機動力をそろえる関東勢は一枚岩で結束して木村を迎え撃たたい。中心は埼京勢だが、目標豊富な宮内善光もキメ脚発揮なら、穴は下岡優季、上田裕和の一発。S級経験豊富な佐野梅一も悔れない。

A級 推奨選手



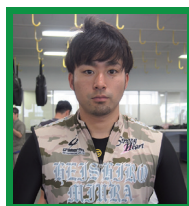
柿本大貴
【東京・113期】

自分の型にはまればいいが、ダメなら大敗。これが競走得点の伸び悩む要因だ。ただ勝ち星は多く、脚自体は問題なさそう。前橋でも12月のミッドであと一歩で優出という走りを見せている。



柿本大貴
【東京・113期】

一時のスランプを脱して、最近では場所ごとに勝ち星を挙げている。自力主体に幅広い組み立てができる点は魅力で、1月当所でもシリーズ2連対の活躍を見せた。ここでも同様の活躍ができるか。



三浦平志郎
【秋田・100期】

直近4カ月の勝ち星は2ケタの10勝。昨年2月の落車による長期欠場から完全に立ち直った。勝ち上がりで苦戦しているが、1③7着と健闘した2月奈良と同じ33バンクなら期待できそうだ。

チャレンジ 推奨選手



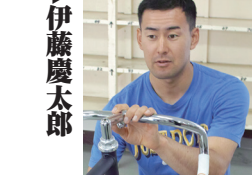
長谷川辰徳
【埼玉・89期】

昨年10月大宮の決勝2着から成績が急上昇した。最近ではコンスタントに決勝進出し、12月西武園ミッドでは戸邊捺のまくりを差すなど差し脚好調。水森湧、岡田亮と目標が豊富なここもチャンスだ。

出場予定選手データ

級別	氏名	登録地	期別	直近4ヶ月競走得点	直近10場所の成績	逃げ数
A1	堀政美	茨城	65期	89.33	3 4 6 17 1	0
	北村貴幸	群馬	71期	86.39	4 5 3 19 0	0
	松永晃典	静岡	76期	87.00	0 1 2 21 0	0
	榊枝輝文	福島	79期	86.42	3 6 1 17 0	0
	女屋文伸	埼玉	83期	87.81	1 9 8 12 1	0
	三上佳孝	千葉	88期	91.13	0 0 0 29 0	0
	栗林巧	青森	89期	89.88	4 2 5 19 0	0
	齊藤健人	静岡	92期	78.33	4 3 2 18 9	0
	野間司	茨城	94期	85.50	0 5 7 12 0	0
	河野要	神奈川	94期	86.72	3 3 6 15 0	0
	古川宗行	東京	96期	0.00	0 0 3 29 11	0
	松澤敬輔	宮城	97期	88.00	4 7 6 11 2	0
	佐藤壮	千葉	100期	98.39	6 5 6 13 0	0
	磯島康祐	青森	105期	90.93	9 6 3 12 16	0
	伊藤慶太郎	埼玉	107期	93.33	3 3 1 2 5	0
A2	吉元大生	静岡	113期	86.87	8 6 3 10 12	0
	岡崎浩一	神奈川	69期	84.00	1 6 3 19 1	0
	北村匡章	神奈川	71期	81.05	1 1 6 18 1	0
	宇賀神浩幸	栃木	73期	86.78	1 5 9 12 0	0
	大沼孝行	静岡	74期	81.43	3 4 2 21 6	0
	十文字菊雄	福島	75期	85.96	2 5 8 13 0	0
	佐藤有輝	神奈川	85期	80.42	0 0 3 26 0	0
	藤原義晴	岩手	88期	81.28	2 3 4 21 0	0
	小谷田公則	福島	88期	84.89	4 5 2 17 0	0
	工藤孝生	埼玉	90期	72.14	1 2 4 20 0	0
	長岡豪	群馬	91期	82.20	2 0 2 15 0	0
	平原啓多	埼玉	97期	86.33	4 7 3 16 0	0
	館真成	茨城	98期	82.93	5 5 1 19 7	0
	吉竹雄城	千葉	99期	83.38	0 5 3 22 6	0
	三浦平志郎	秋田	100期	84.83	11 1 3 15 11	0

FI ミッドナイト競輪 in 前橋 (主催：立川市) KEIRIN スポニチ杯 3/19金20土21日



伊藤慶太郎



吉元大生



佐藤壮



磯島康祐

当所連覇狙う伊藤慶太郎

A級1・2班戦

伊藤慶太郎が1月に続く当所連覇を狙う。9月取手の先頭員早期追い抜きによる失格で4カ月実戦を離れたが、復帰戦となった1月西武園ミッドで優出し、2戦目の当所ミッドで優勝した。復帰後はブランクを感じさせない走りを見せている。先行主体の組み立ても当所向きで、同県の女屋文伸やベテラン堀政美を連れて攻めのレースに徹するか。前期S級の古川宗行は10月から欠場が続いているだけに、出場しても状態やレース勘に不安が残る。

S降りレーサー3名を擁する南関東勢。吉元大生のデキが南関東勢やシリーズの勢力図を大きく左右しよう。10月青森のあとから続く欠場は4カ月になる。昨年は同じように4カ月の欠場があり、復帰後はその影響を感じさせないスピードを見せたい。北日本勢は磯島康祐、栗林巧の青森コンビが中心。昨年終盤からその勢いにかげりが見られる磯島だが、9月青森、松戸の連覇を含む前期3Vの数字は軽視できない。最近では先行一本ではないものの積極的な仕掛けは健在で、ドームの短走路と好条件がそろった当所を吹き返すか。栗林もここ一番のキメ脚は健在。2月当所では今年初優出を決めており、ここも磯島の積極策に乗って再現を狙う。

東京117期コンビが強力

A級チャレンジ戦



水森湧太

水森湧太、岡田亮太の東京117期コンビが強力だ。水森にとっては1月のミッドに続き当所連覇の期待がかかるシリーズ。まくりのウエイトが高いが、今期はここまで着外なしと安定感も抜群だ。岡田はシリーズ屈指の積極性で短走路を攻略したい。藤光健一に鈴木龍之介、村上貴彦、内海雅夫と関東勢は追い込み陣も強力だ。対するは1月取手で完全優勝と好調維持する湯浅大輔。その湯浅を12月西武園ミッドで破ってVの原大智も水森、岡田との同期対決に意欲を燃やす。